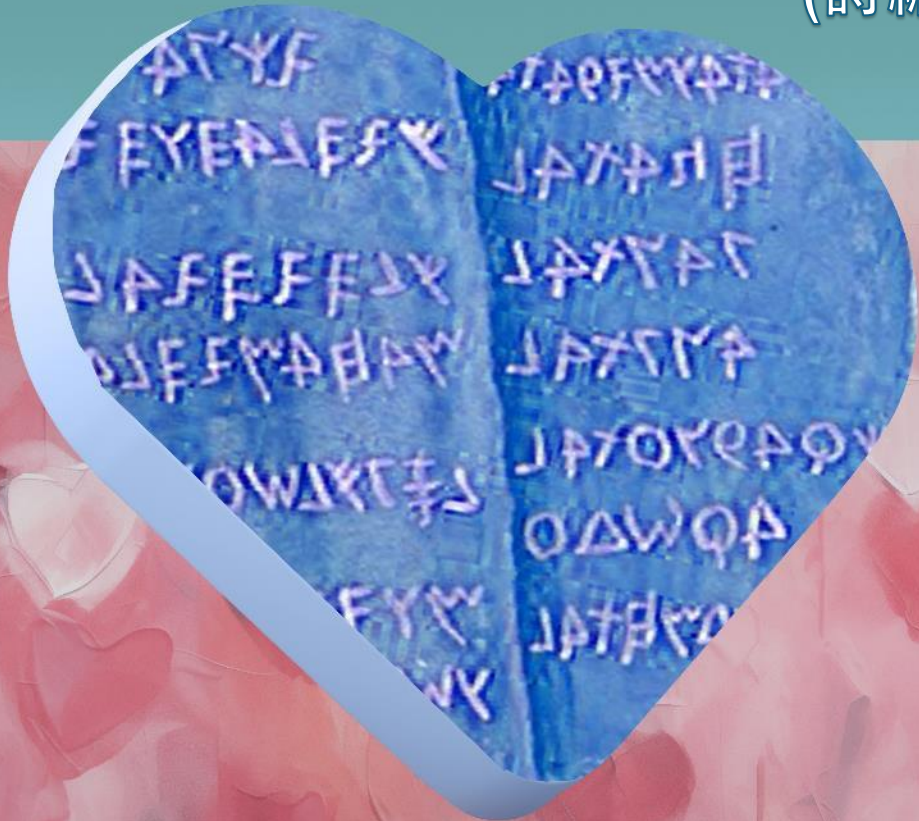


困難に立ち向かう 信仰

2024年5月4日 第5課

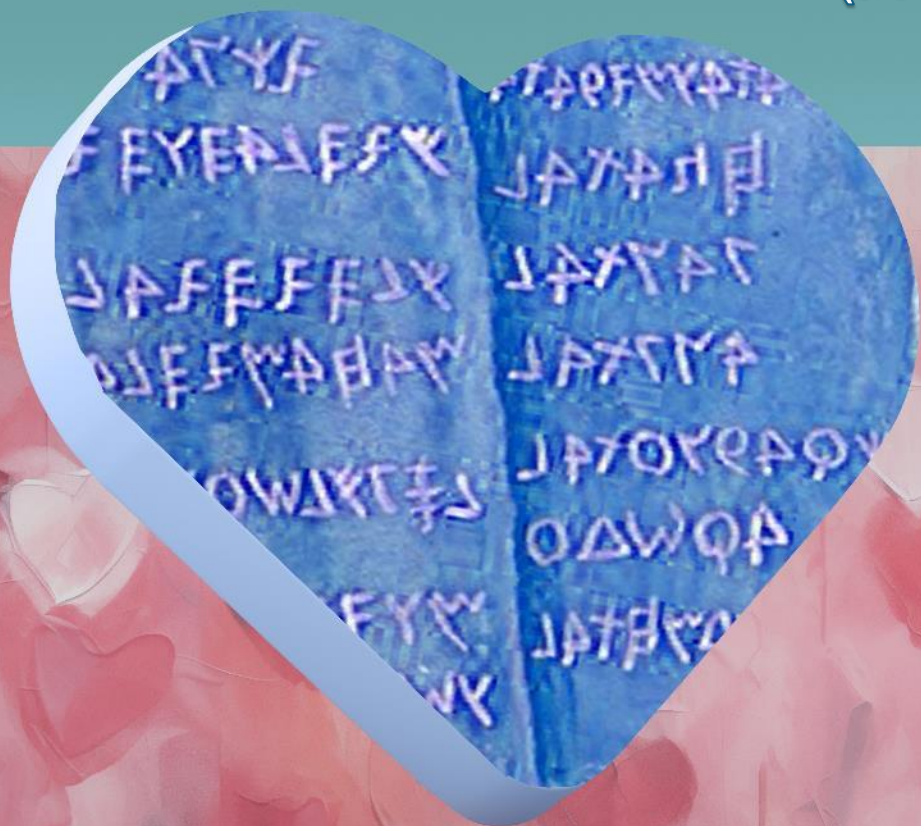
わたしは仰せを心に納めています／あなたに
対して過ちを犯すことのないように。

(詩編119:11, 新共同訳)



わたしはあなたにむかって／罪を犯すことのない
ように、心のうちにみ言葉をたくわえました。

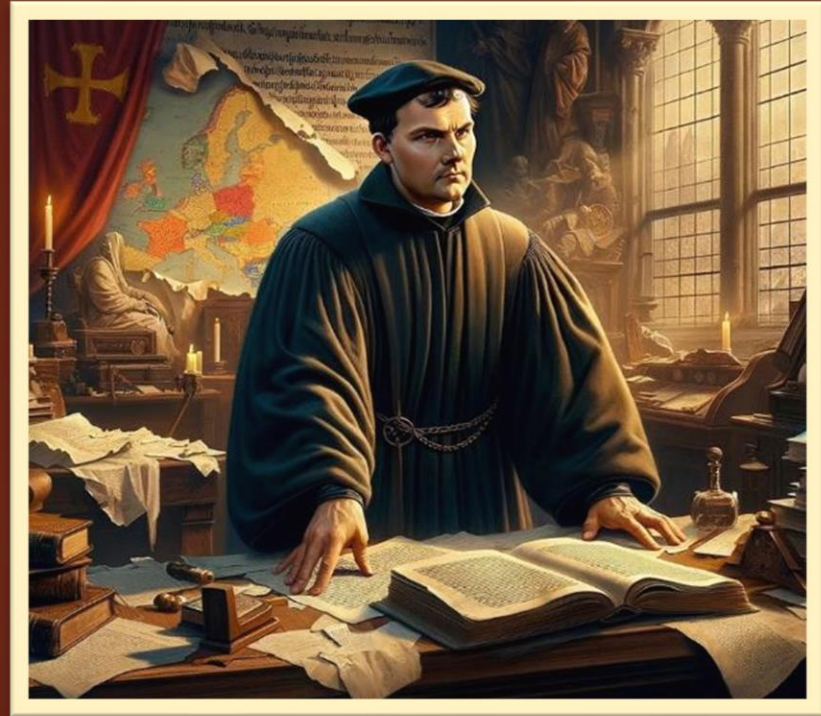
(詩編119:11, 口語訳)



16世紀、「宗教改革の星」ウィクリフによって200年前に始められた活動が輝き始めた。改革の輝きがやってきたのだ。

この改革は5つの基本的なポイントに基づいていた：

- ★ 1. ソラ・スクリプトゥラ (聖書のみ)
- ★ 2. ソラ・グラティア (恵みのみ)
- ★ 3. ソラ・フィデ (信仰のみ)
- ★ 4. ソルス・クリストゥス (キリストのみ)
- ★ 5. ソリ・デオ・グローリア (栄光は神のみに)



信仰の土台:

- 聖書のみ / 栄光は神のみに
- 聖書は誰にでも読める
- 聖書の通訳者



救いの土台:

- 恵みのみ / 信仰のみ / キリストのみ
- 恵みの中で成長する

信仰の土台

聖書のみ / 栄光は神のみに

あなたの御言葉が見いだされたとき / わたしはそれをむさぼり食べました。あなたの御言葉は、わたしのものとなり / わたしの心は喜び躍りました。万軍の神、主よ。わたしはあなたの御名をもって / 呼ばれている者です。(エレミヤ15:16)

16世紀の改革者たちは文字通り世界を変えた。しかし、彼らには特別なものは何もなかった。彼らは神によって変えられた人々なのだ。そのため、彼らはこう宣言した：「栄光は神にのみ」

この変容はどのようにして彼らにもたらされたのだろうか？
奇跡を起こしたのは、神の言葉を読むことだった。

聖書は彼らに何をし、そして私たちに何をしてくれるのか。

それは信仰の土台である

主の約束を信じることによって、私たちは信仰と勇気を新たにします。

その葉は命の木の実のようだ。

喜び、希望、光を放つ

それは私たちに方向性、確信、強さ、知恵を与えてくれる。

肉体的、精神的、感情的、霊的に私たちの存在を生き生きとさせる

暗い時代にあって、聖書はその教えに忠実であり続けるために命を捧げるほど、彼らの人生を喜びで満たした。今日、聖書はあなたの人生を喜びと感謝で満たしているだろうか？



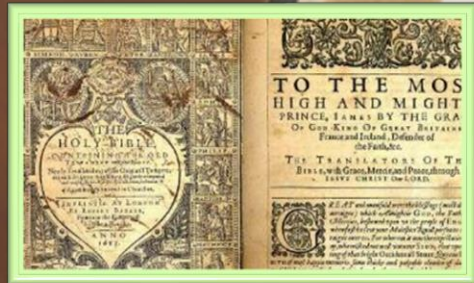
聖書のみ / 栄光は神のみに

神の言葉はますます栄え、広がって行った。(使徒言行録 12:24)



ティンダル (1494-1536) は、ウィクリフの聖書 (ラテン語訳) の誤りを正すべく、原語からの直訳に着手した。彼はギリシャ語から翻訳した新約聖書を出版した。

マイルズ・カバーデールは、旧約聖書をヘブライ語原典から翻訳し、ティンダルの仕事を継続・補完した。こうして1535年、英語による最初の印刷聖書が出版された。



このバージョンは、英語話者の間で最も広く使われている聖書翻訳、すなわち1611年に出版された欽定訳聖書の基礎となった。ティンダル、カヴァーデール、そしてKJVを作成した学者たちの働きは、何百万もの人々に影響を与え、彼らを神の知識へと導いた。

不思議なことに、宗教改革を公然と受け入れることのなかった人物が、これらの翻訳において不可欠な助けとなった：ロッテルダムのエラスムスである。彼は当時、ギリシア語の新約聖書を出版しており、これが宗教改革者たちのすべての翻訳の基礎となった。



(日)

聖書の言葉は、あなたの心に、
完全な癒しを日々、与えていますか？

聖書は誰にでも読める

英語版の聖書が準備・出版される一方で、他の改革者たちも聖書を母国語に翻訳した。こうして、聖書はヨーロッパ、そして新しく発見された"新世界"の住民に直接読まれるようになった。



マルチン・ルター
ドイツ (1534)



ピエール・ロベール・オリベタン
フランス (1535)



ブレスト版聖書
ポーランド (1563)



カシオドーロ・デ・レイナ
スペイン (1569)



クラリチェ聖書
チェコ (1579)



ヨナス・ブレトクナス
リトアニア (1579)



ジュライ・ダルマティン
スロバキア (1584)



ジョン・ディオダティ
イタリア (1607)



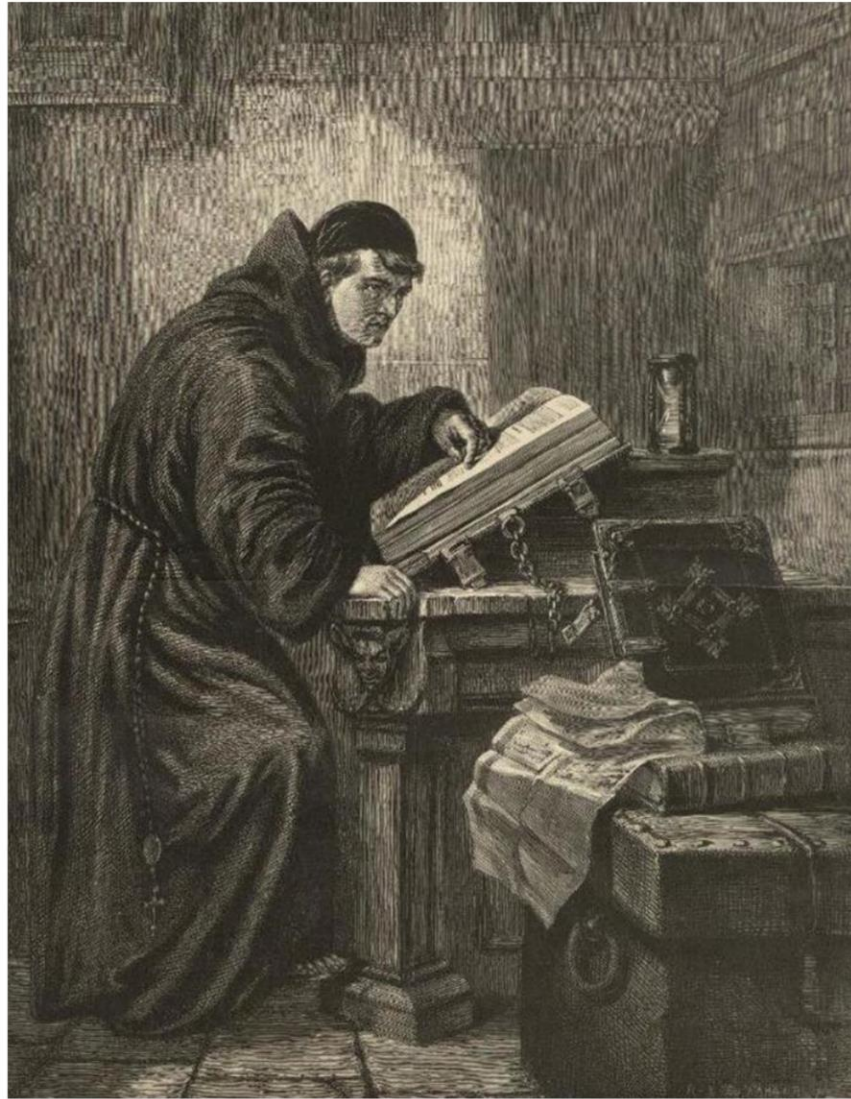
ジョアン・フェレイラ・ド・アルメイダ
ポルトガル (1691)

(月)

あなたの日常生活で、聖書の優先順位は、
何番でしょうか？

聖書の通訳者

何よりもまず心得てほしいのは、聖書の預言は何一つ、自分勝手に解釈すべきではないということです。
(2ペテロ 1:20)



マルティン・ルターが初めてラテン語で聖書を読んだとき、彼の人生は一変した。

そのページをめくりながら、彼はより高い力が彼の心を照らしていることに気づいた。福音は生き生きと効果的になった。暗い伝統は消え去り、キリストの恵みが現れた。どのような力が彼の心を照らしたのだろうか？

聖書の唯一の権威ある解釈者である聖霊が、聖書に含まれる真理を啓示されたのである。そして、同じ聖霊が私たちにも与えられているので、私たちも聖書を理解することができるのだ！（ヨハネ14:26; 16:13）。

その瞬間から、公式の教会が教える伝統と聖書に含まれる真理との間には調和があり得ないことが明らかになった。信仰と行動の唯一のルールは聖書に含まれており、聖霊によって私たちに啓示されている。



(火)

サタン悪魔が、聖書を人を支配するための
抑圧的な道具とした例について、
話し合いしましょう。

みことばを説くことは、聖霊のたえまない臨在と助けがなければ何の効果もない。これが天来の真理の唯一の効果的な教師である。真理が聖霊に伴われて心に入る時のみ、それは良心をめざめさせ、あるいは生活を一変させる。人は神のみことばの字句を示すことができ、そのすべての命令と約束とをよく知っているかもしれない。しかし聖霊によって真理がはっきり頭に入らないならば、魂は岩なるキリストの上に落ちてくだけないのである。



救いの土台

恵みのみ / 信仰のみ / キリストのみ

事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。
このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。(エフェソ 2:8)

エペソ人への手紙2章8節からは、3つの基本的な真理が浮かび上がってくる。

- 1 私たちは恵みによってのみ救われる
- 2 恵みを得る手段は信仰のみ
- 3 これは神の賜物であり、御子の賜物：キリストのみ

罪のゆえに、私たちは永遠の死を宣告されている（ロマ 6:23上句）。しかし、神は私たちの負債を支払い、永遠の命を与える方法を備えておられる（ロマ6:23下句）。

なぜ神に借金を払ってもらう必要があるのか？ 私たちにはどのような方法でも支払うことができないからだ（詩49:8、エペ 2:9）。

マルティン・ルターは、キリストが唯一の救いの源であることを知ったとき、その真理を宣べ伝え始めた。敵の欺瞞によって鎖につながれていた何千人もの人々が解放され、変えられた。



救いは無償であるが、その代価は無限であり、すべての人に十分であった。(ヨハ 3:16; ロマ 8:32)

(水)

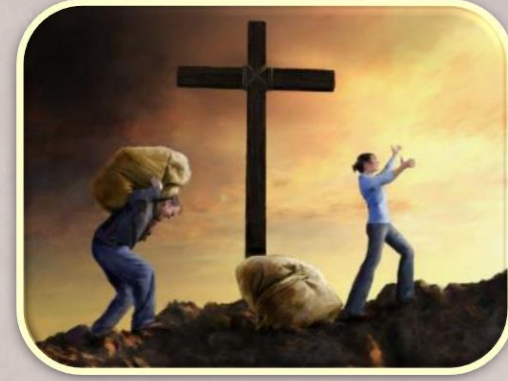
毎日、キリストによる完全な贖いについて
瞑想する時間をもつためのアイデアについて、
分かち合いましょう。

恵みの中で成長する

わたしたちの主、救い主イエス・キリストの恵みと知識において、成長なさい。このイエス・キリストに、今も、また永遠に栄光がありますように、アーメン。(2ペト 3:18)



中世の人々は、ミサ、教皇勅書、自己拷問、巡礼.....などによって、自分の救い（そして先祖の救い）を得ようと考えた。



それらはすべてが苦痛だったが、それでも救いには決して十分ではなかった。キリストの恵みを知るまでは。その瞬間から、彼らは真の自由を感じた。その自由が、律法を軽んじることにつながったのか、それとも律法に従うことにつながったのか。

メソジスト運動の創始者の一人であるジョン・ウェスレー（1703-1791）は、ルターのローマ人への手紙序文を読んで感動した。彼の新しい信仰は、恵みによる成長を求めるようになった。

恵みによって救われたことを知った彼は、律法を軽んじるようになったのではなく、律法をより注意深く学ぶようになった。



(木)

宗教改革者と、あなたの共通点は何ですか？
相違する点は、何ですか？

これらの改革者たちが主張した大原則は、ワルド派、ウィクリフ、ヨハン・フス、ルター、カルバン、ツウィングリその他の同志たちが信じた原則と同じであって、信仰と行為の規則としての聖書の、誤ることのない権威ということであった。彼らは、法王、会議、神父、王たちの、宗教の問題において良心を支配する権利を拒んだ。聖書が彼らの権威であった。そして彼らは、その教えによって、すべての教義とすべての主張を試した。これらの聖徒たちが処刑台の露と消えた時に、彼らを支えたのは、神と神の言葉に対する信仰であった。ラティマーは、炎のために、今にも声が沈黙させられそうになった時、同僚の殉教者に向かって叫んだ。「喜べ。きょうわれわれは、神の恵みによって、英国にろうそくをともすのだ。その火は決して消えないであろう。」